事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	V	施設の管理・運営

1次評価のみ対象分

	コード	名　　称	区分	コード	名　　称
事業名	791	交通安全施設維持管理経費	会計	01	一般会計
			款	08	土木費
基本施策	12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ	項	02	道路橋梁費
			目	05	交通安全施設整備事業費
施　策	1	安全な道路交通環境の確保	細目	101	交通安全施設維持修繕経費
			細々目	01	交通安全施設維持修繕経費

基本計画該当頁	86	担当部課	コード	603500	評価者氏名	増田　伸一	連絡先	59 - 2294 (内線)
行革大綱の重点事項番号			名称	島ヶ原産業建設課				

事業の計画・内容

事業目的	対象等（何が、誰が）	成果（どうなるのか）
	主に管内の道路利用者等 （※対象件数　　）	交通安全施設の維持修繕をすることにより、道路等の安全な交通環境がつくられる。

開始年度	平成　16　年度	関連事業	
終了年度	平成　　年度	根拠法令・要綱等	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律

本年度事業内容	カーブミラー修繕　7基・ガードレール（ガードパイプ）設置　1箇所	状況変化等	

整備内容

1 建設用地	
2 建設面積（延床面積）	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制

1 運営主体	☑ 直営　☐ 指定管理　☐ 民間委託等
委託先	（　　）
2 配置（予定）人員	0.1　人
3 年間運営費	728　千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値 H17		実績値 H18		目標値 H19	目標値 H20
カーブミラー修繕数	箇所	目標	―	目標	3	5	5
		実績	0	実績	7		
ガードレール設置数	箇所	目標	―	目標	1	0	0
		実績	1	実績	1		
		目標	―	目標			
		実績		実績			
		目標	―	目標			
		実績		実績			
		目標	―	目標			
		実績		実績			

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値 H17		実績値 H18		目標値 H19	目標値 H20
要修繕箇所対応割合	修繕が必要な箇所を分母とし、修繕実施箇所を分子として修繕の対応割合を指標とした。	%	目標		目標	100	100	100
			実績	100	実績	90		
			目標		目標			
			実績		実績			

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	管内の道路利用者等が安全で快適に道路を通行できるよう安全施設の整備を図る。
有効性	4	安全な交通環境がつくられている。
達成度	3	ほぼ予定どおり実施できた。
効率性	4	緊急修繕設置箇所の対応を小額随意契約により行ったため効率的である。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	拡大	発生主義ではあるが、事業予算を拡大することで防護柵等を設置できる。修繕要望が多く事業予算の拡大が必要。

進捗状況	平成17年度 決算内容 事業内容	数量	単位	金額	平成18年度 決算内容 事業内容	数量	単位	金額	平成19年度 計画内容 事業内容	数量	単位	金額	平成20年度 計画内容 事業内容	数量	単位	金額
年度				(千円)				(千円)				(千円)				(千円)
委託	修繕料			0	修繕料			247	修繕料			250	修繕料			250
	土地借上げ料			17	土地借上げ料			18	土地借上げ料			18	土地借上げ料			0
工事	工事費			683	工事費			399	工事費			400	工事費			418
	原材料費			9	原材料費			57	原材料費			60	原材料費			60
進捗率（%）	事業費計(A)		Σ	709	事業費計(A)		Σ	721	事業費計(A)		Σ	728	事業費計(A)		Σ	728
事業投入人員	人件費（B）	0.1	人	720	人件費（B）	0.1	人	720	人件費（B）	0.1	人	720	人件費（B）	0.1	人	720
フルコスト（A）＋（B）				1,429				1,441				1,448				1,448

事業費（人件費除く）の財源内訳

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
(A)	事　業　費	709	721	728	728
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	709	721	728	728
	計	709	721	728	728
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				